

令和4年度（2022年度）目黒区エコプラザ指定管理者事業報告

1 条例第3条第1号事業：講座講習会等を実施すること

(1) エコプラザ講座等の開催

ア 「自然エネルギーを体感しよう」

実施日	12月11日(日) 10:00～13:00	主な経費及び参加費
会場	「エコまつり・めぐろ2022」田道広場公園	
参加者数	約300人	委託費 100千円 参加費 —
講師等	NPO法人 ソフトエネルギープロジェクト	
概要	自然エネルギー(再生可能エネルギー)の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を行った。また、ソーラーカーのデモンストレーションも行い、自然エネルギーの力を体感して貰うことができた。「エコまつり・めぐろ2022」に出展した。	

イ 親子ふれあい自然体験 in めぐろ

実施日	10月8日(土) 10:00～12:30	主な経費及び参加費
会場	中目黒公園、目黒川の散策、目黒区エコプラザ活動室	
参加者数	おとな5人、子ども7人	通信運搬費等 2千円 参加費収入 2千円
講師等	花とみどりの学習館 伊藤氏、目黒区エコプラザ職員	
概要	親子で目黒区の公園や目黒川の生き物に触れ合うことで、様々な生き物が生息し、共生していることを感じてもらう。公園内で花とみどりの学習館の職員の指導のもと草花を採集した。目黒区エコプラザへの移動中に目黒川のことについて学び、川の生き物を観察した。目黒区エコプラザでのエコバッグづくりでは、採集した草花でこすり染めやステンシルで思い思いのエコバッグづくりを体験した。	



ア 自然エネルギーを体感しようの様子



イ 親子ふれあい自然体験 in めぐろの様子

ウ DIY 子ども工作教室「家族でDIY 入門 ビー玉ころがしを作ってみよう！」

実施日	3月4日(土) 10:00~13:00	主な経費及び 参加費
会場	目黒区エコプラザ活動室	
参加者数	7組 15人	消耗品費 11千円 諸謝金 5千円 参加費収入 2千円
講師等	DIY アドバイザー 平田 良 氏	
概要	<p>工具を使用してもものを作ることや修繕することに親しむきっかけとなるよう、鋸や金づちの扱い方を学ぶ。子どもと保護者が協力してビー玉ころがしを制作するDIY 初心者向け講座を実施した。</p> <p>※サロン・エコライフのひとつとして実施した。</p>	

(2) 出前講座（学校・児童館等）の実施

ア 小学校への出前講座

概要	<p>ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる4年生を対象に出前講座を行っている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の流行による感染対策のため、依頼が減少している。4年生対象の出前講座は下目黒小学校一校のみとなったが、田道小学校2年生の目黒区エコプラザ見学や自主事業として行った不動小学校3年生へのオンライン授業などの成果物をイベントや目黒区エコプラザ展示コーナーで掲示した。小学校と連携した啓発につながられた。また、協会がオリジナルに作成している冊子「めぐろ eco エコ大作戦」を配布の希望を募り、八雲小など8校からの希望に応えた。</p>	主な経費 印刷製本費 248千円
----	---	------------------------

(ア) 小学校4年生対象出前講座

実施月日	小学校名	参加人数
9月5日(月)	下目黒小学校	87人

(イ) 目黒区エコプラザの見学等

実施月日	小学校名	内容	参加人数
9月7日(水)	田道小学校2年生	見学	85人
9月14日(水)	田道小学校2年生	職場インタビュー	17人

(ウ) 「めぐろecoエコ大作戦」配布

小学校名	配布数	小学校名	配布数
八雲小学校4年	54	向原小学校	50
緑ヶ丘小学校4年	35	原町小学校4年	43
上目黒小学校4年	45	不動小学校3年	120
田道小学校2年	85	月光原小学校3年	62

イ 児童館への出前講座

概要	子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、児童館等に出向き、きっかけづくりのための講座を実施した。エコプラザへの来館者の増加につながるよう、エコプラザPRも出前講座の中で行った。その際のアンケートでは、「目黒区エコプラザを知らなかった」という方が多数おり、エコプラザPRの有効な機会にもなった。また、夏休みの小学生対象の講座も行った。	主な経費
		—

参加者計100人

	実施日	施設名等	事業名等	対象	内容	参加人数
1	7月14日(木)	油面住区センター児童館	乳幼児のつどい	2・3歳児と保護者	バスボム作り	1組 2人
2	7月29日(金)	平町児童館	エコクラフト	小学生	バスボム作り	13人
3	9月30日(金)	平町児童館	乳幼児のつどい	乳幼児と保護者	エコ工作 「おさんぽワンチャン」	12組 24人
4	1月17日(火)	五本木住区センター児童館	乳幼児のつどい	0歳児と保護者	バスボム作り	9組 18人
5	2月22日(水)	上目黒住区センター児童館	乳幼児のつどい	0～3歳児と保護者	エコ工作 「かたかたカスタネット」	9組 19人
6	3月3日(金)	平町児童館	乳幼児クラブ	2・3歳児と保護者	資源とごみの分け分けゲーム	9組 18人
7	3月8日(水)	区民センター児童館	乳幼児のつどい	1～3歳児と保護者	エコ工作 「ケロケロがえる」	3組 6人



田道小学校2年生まち探検の様子



資源とごみの分け分けゲームの様子

ウ 学童保育クラブへの出前講座

概要	夏休み等長期休業の「学童保育クラブ」に向けての出前講座を行っていたが、新型コロナウイルス感染症対応のため実施を見合わせた。	主な経費
		—

エ イベントへの出前講座

概要	目黒区在住・在学の中高校生たちが、自分たちで企画から運営する「ティーンズ・フェスタ・イン・めぐろ」及び目黒区内で活動を行っている子育てグループが実行委員となって0歳から3歳児の親子を対象に活動の紹介・PRを行う「子育て交流ひろば0123」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小して実施するため、担当者より招集を見送る旨の申し出があった。	主な経費
		—

2 条例第3条第2号事業：資料を収集し、利用に供すること

(1) 情報室の運営

概要	情報室を利用される方の年齢層や季節に応じて、エコライフに関する情報のパネル展示、ミニ講座、ちらしの配布などを行い、情報室の利用の促進を図った。	主な経費
		印刷製本費 229 千円 消耗品費 166 千円

ア 情報室におけるエコライフに関する情報の提供

ごみの分別方法、重曹・クエン酸を使った環境にやさしい掃除方法、エコプラザのPRちらし等を配布すると共に、緑のカーテン普及のために、次のとおり種の配布等を行った。

事業名	実施期間等	内容
緑のカーテンを育てよう！ へちま de スポンジプロジェクト	4月14日(木)～ 5月31日(火)	へちまの種と苗、ふうせんかずらの種を配布。併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法や、収穫できたへちまの実をスポンジに加工する方法について、情報提供を行った。
牛乳パックで生ごみ堆肥づくり	9月5日(月)～	牛乳パックを使って手軽に生ごみ堆肥を作る方法を紹介したちらしを配布した。秋から春にかけての園芸や野菜作りに取り組んでもらうことで、ごみを減らし、環境にやさしい栽培方法を心がけてもらえるようになることがねらい。

イ 展示コーナーの設置

パネルや実物を活用した展示コーナーを設け、環境や3Rに関する情報提供、エコプラザで行っている事業の展示を行った。(詳細は9頁情報室の普及啓発にあり)

ウ 図書の提供

環境に関する図書・雑誌を充実させると共に、展示テーマと連動させ、配架を工夫した。

実施月	テーマ	内 容
4月	海に流れ出るプラスチックを減らそう！	プラスチックが劣化し、マイクロプラスチックとなることが環境にどのような影響を与えるのか？マイクロプラスチックの流出をどうしたら抑制出来るのか？考えるきっかけとなる図書を紹介。
5月	環境活動の先駆者 レイチェル・カーソン	生物学者であり、環境活動の先駆者であるレイチェル・カーソンが5月27日生まれであることから、「沈黙の春」などレイチェル・カーソン関連図書を紹介。
6月 7月	着物やお洋服をリメイクして 楽しもう♪	6月の環境月間に、情報室内でリメイク作品の展示を行ったのとあわせて、はぎれや着物を素材としたリメイクの関連図書を紹介。
8月 9月	生きる為に大切な水のこと 考えてみよう♪	猛暑に見舞われる時期に、水の大切さや水に関わる環境問題について考えてもらえるよう関連図書を紹介。
10月 11月	食料を選び調理し食べる ×環境のこと	情報室内で食品ロスの展示を行ったのとあわせて、「フードマイレージ」や「生ごみ堆肥」について学ぶことのできる図書や食品ロスを減らすアイデアとなるような図書を紹介。
12月	家族で作って楽しむ エコライフ♪	年末年始に、家族で楽しみながらエコ工作やエコクッキング、リメイク、修繕などに取り組むきっかけとなるような図書を紹介。
1月	お米の大切さを見直そう！	1月17日はおむすびの日（お米の大切さ、食生活を見直す日）ということから、稲作や米を調理すること、また備蓄食材の活用に関する図書を紹介。
2月	土のこと・たねのこと・作物 を育てること	土づくりや家庭菜園を始めるのに適した時期を迎えることから、土壌や生ごみ堆肥作り、種子、家庭栽培、そして農業に関する図書を紹介。
3月	みぢかな所で生きものを みつけよう！	情報室内でのテーマ展示「里山のくらしといきもの」とあわせて、自宅周辺や公園等でも見つけることのできる野生動物や野鳥、昆虫などについて図説した図書を紹介。

エ その他

事業名	内容
エコプラザだより	月1回発行の目黒区エコプラザの情報誌である。地区サービス事務所・住区センター・図書館・社会教育館等で掲示・配布を依頼。（毎月ポスター約280枚・チラシ約800部発行）
わくわくエコライフカレンダー	リサイクルショップの収益金を活用し、エコライフめぐろ推進協会の事業紹介などを兼ねたカレンダーを作成。来館者等に配布。（発行部数：1200部）

(2) 情報室での普及啓発

概要	エコプラザを訪れた区民が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう、来場者層に合わせたミニ学習会(サロン・エコライフ)や展示を行った。	主な経費
		諸謝金 5千円

ア 展示 (図書コーナー及び階段下展示コーナー)

実施月	テーマ	内 容
4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「きれいな海は街から」 ・どうして目黒川は汚いの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今海で何が起きているか？海洋汚染の現状を知り、防ぐためには何が出来るかを考えてもらう ・目黒川はなぜ悪臭が発生するのか？その理由と悪臭を防ぐための対策を提案
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収のはじまり ・目黒区エコプラザの資源回収のポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収の先駆者であった目黒区の資源回収などについての歴史を年表で紹介 ・目黒区エコプラザで回収できる資源について回収のポイントを掲示 ・資源として回収された「衣類」「飲料用ペットボトルのキャップ」のその先を紹介
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・自由研究のヒントを見つけよう！ ・夏休み自由研究応援企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間に合わせ、自由研究のヒントになるような図書の紹介 ・「紙パックのリサイクル」「打ち水大作戦2022」「エコ工作レシピ配布」など、夏休みの自由研究のヒントの一例を紹介
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsってなんだろう！ ・xChange参加者募集(10月1日まで) ・打ち水の木 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの17のアイコンについて簡単な説明を掲示するとともに、その関連図書を紹介 ・子ども服の交換会の代わりに実施したxChange(エピソードタグをつけて交換会を行う催し)の主旨説明と参加者の募集のための掲示 ・夏休みに打ち水を実施した方の写真を募集し、その写真をイラストの木の上に貼って成果を紹介
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材でエコそうじ ・バスボム(入浴剤)をつくってみよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・重曹、クエン酸を利用した掃除方法の提案 ・バスボムの作り方を大きく掲示し、レシピも配付
1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を救う ・食に関するエコライフの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを家庭内からどのような考えや工夫で無くせるかを掲示し、ローリングストック法やバーチャルウォーターなど食に関する情報を紹介
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・里山のくらしといきもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて循環型生活が営まれていた里山という環境と、その環境で繋がりあいバランスを保っていた生きものについて紹介し、近年の環境の変化により生きものが絶滅あるいは絶滅の危機にあることについても掲示

イ サロン・エコライフ

講座名	実施日	内容	参加人数
「さき織り体験」	6月28日(火)	何でもつくり隊「古布 de さき織り」のPRとし、織り機を使ってコースターを作る体験を行った。	4人
「紙パック de 紙すき体験」	8月5日(金)	夏休みの自由研究の応援企画として、紙パックを使った紙すきでハガキを作る体験講座を行った。合わせて紙パックのリサイクルについて学び・考える場とした。	21人
家族でDIY入門 「ビー玉ころがし を作ってみよう！」	3月4日(土)	第1号事業「こども DIY 工作教室」をサロン・エコライフとして開催した。	7組 15人

ウ その他（図書コーナーの活用・窓口での普及啓発）

新着図書紹介、 エコおもちゃ設置	4月1日(金) ～6月4日(土)	新しく入った図書を紹介した。 紙パック等で作成したエコおもちゃで遊べるコーナーを設置した。
夏休み向け図書紹介	7月23日(土) ～8月31日(水)	夏休みの自由研究向けの図書をテーマごとに展示し、調べ学習のサポートを行った。
お家 de 打ち水	7月23日(土) ～8月23日(火)	お家で打ち水を実施し、その様子を写真に撮って持参した方に東京都環境局作成の打ち水日和の手ぬぐいをプレゼントした。集まった写真はイラストの木に貼り付け「打ち水の木」として掲示した
田道小学校2年生作品展示	12月11日(日)・ 1月5日(木) ～3月7日(火)	田道小学校2年生17名が描いた「地球環境をまもるための標語とイラスト」をエコまつり・めぐろ2022と田道ふれあい館まつりに合わせて掲示した。
不動小学校3年生作品展示	3月15日(水) ～4月3日(月)	不動小学校3年生に対し、協会が実施した『食品ロス』のオンライン講習についてまとめた作品を目黒区エコプラザの展示コーナーで紹介した。

3 条例第3条3号事業：不用物品を再生すること

(1) 何でもつくり隊

事業名	何でもつくり隊	主な経費
概要	古着・古布・残り毛糸等を使った物づくりの講座を定期的にエコプラザ活動室で開催した。 各講座の運営に協力している活動団体や講座の参加者が、それぞれの地域などで活動を広められるよう、協会が支援する人材育成の場としての事業である。	—

ア 定例開催

参加者計 708 人

講座名	実施日	内容	参加人数
毛糸 de ボランティア	毎月第 1 火曜日 13:30～15:30	残り毛糸を活用してひざ掛け等を作り、福祉施設等に寄付している。 寄贈先:かみよん工房クッション3枚・ひざ掛け3枚 東が丘障害福祉施設クッション5枚・のぞみ寮クッション9枚・グループホームひかり目黒クッション 23 枚・ひざ掛け 17 枚	87 人
古布 de 小物作り	毎月第 2 火曜日 13:30～15:30	古布を活用して小物を作る。 協力団体:布で遊ぼう	142 人
古布でさき織り	毎月第 3 火曜日 13:00～15:30	古布を裂いて、織り機を使って作品を作る。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	103 人
エコ布ぞうり	毎月第 4 火曜日 13:30～15:30	古布を活かして布ぞうりを編む。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	99 人
つくりなおしカフェ	毎月第 1・4 木曜日 13:30～15:30	着物や Y シャツ等の素材を活かしながら普段に着られるものへリメイクするとともに、丁寧な暮らし方を考える。 協力団体:もめんむすび	277 人

イ 懇談会 (アンケートの実施)

講座名	実施日	内容	参加人数
「何でもつくり隊」懇談会	1 月～2 月の各活動日	本来は、各団体の代表者に集ってもらい、活動状況の報告と意見交換を行っているが、令和 4 年度も、新型コロナウイルスの感染対策のため、令和 2 年度・3 年度と同様各団体の代表者にアンケートを行い、報告や意見を取りまとめた。また、令和 5 年度には懇談会を実施出来るよう日程調整等を早々に行った。	全 4 グループの代表者がアンケートに協力

ウ 作品展

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」作品展	6 月 14 日(火)～6 月 28 日(火)	環境月間である 6 月に、何でもつくり隊の各活動で作られたリメイク作品を、情報室で展示した。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年度と 3 年度には作品展の機会を設けることが出来なかった。	全 4 グループ

エ 手作りマーケット

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」手作りマーケット	1日 21日(土)	田道ふれあい館まつりで、何でもつくり隊の各活動で作られたリメイク作品の紹介と展示販売を行い、『何でもつくり隊』のPRをした。	・もめんむすび ・布で遊ぼう ・布ぞうり・さき織りサークル



何でもつくり隊作品展の様子



手作りマーケットの様子

(2) 修理コツコツ講座

ア 包丁研ぎ編

実施日	第1回 5月28日(土) 第2回 10月29日(土) 第3回 2月25日(土) 第1回から第3回共通 ①9:30~10:20 ②10:40~11:30 ③13:10~14:00 ④14:20~15:10	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	諸謝金 20千円
参加者数	第1回:37人、第2回:37人、第3回:35人 計 109人	通信運搬費 5千円
講師等	クラフトマングループ 4人	参加費収入 第1回 11千円 第2回 11千円 第3回 11千円
概要	切れなくなった包丁の砥ぎ方を習って自分で砥いでみることにより、物を大切にすること、長持ちさせることの大切さを実感できる機会を提供した。	

イ 壁紙の補修編

実施日	2月15日(水) 10:00～12:00	主な経費及び 参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	12人	諸謝金 20千円 通信運搬費 1千円 参加費収入 12千円
講師等	DIYアドバイザー 吉村美紀氏	
概要	壁の穴や壁紙のはがれなどの補修方法を学ぶ講座。小さな模型を使って様々な技法を学べるだけでなく、その工具や溶剤等の教材も充実しており、家に帰ってから直ぐに実践できる。	

ウ 網戸の張替え編

実施日	2月27日(月) 第1回 10:00～12:00 第2回 13:30～15:30	主な経費及び 参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	第1回:14人 第2回:14人 計28人	通信運搬費 6千円 材料費 14千円 参加費収入 14千円
講師等	株式会社イノボックス 2人	
概要	家庭で修理することがあまりない網戸の修理技術を普及し、ものを修理して長く使うことを通じ、ごみ発生抑制の促進を図った。	



修理コツコツ講座～壁紙の補修編～の様子



修理コツコツ講座～網戸の張替え編～の様子

(3) 資源回収事業

概要	資源回収の普及啓発として、目黒区エコプラザに、廃食油、インクカートリッジ等の回収コーナーを設置し回収した。行政回収の対象にならない資源について、次のとおり、協会が独自に回収した。	主な経費
		負担金 11千円

回収物	衣類	ペットボトル キャップ	廃食油	インクカートリッジ	使い捨てコンタクト レンズの空ケース
回収量	13,680kg	635kg	5880	67.11kg	49.55kg
売却益	33,638円	6,985円			
再利用内容	再生事業者が古着として販売する。	再生事業者が資源化しごみ箱やスーパーのカゴ、ボールペン等になる。	再生事業者がバイオ燃料としてリサイクルする。	破砕・選別後に再生プラスチック化し、プラスチック製品等へ再利用される。	粉砕し、再生ポリプロピレン素材として、様々なリサイクル製品になる。

4 条例第3条第4号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること

(1) 不用品情報提供事業

概要	家庭で不用になった品物を活かす方法として、「譲りたい方」と「欲しい方」を仲介する仕組みをシステム化し、エコプラザで情報を提供している。大型家具等の引取り、販売については、不用品情報の利用を案内した。 ※利用実績は、19頁のとおり。	主な経費
		委託費 423千円

(2) リサイクルショップの運営

概要	区民等から寄付品を頂き販売した収益金でエコまつりや環境講演会など、区民へ還元する環境保全活動に活用をしている。ショップの運営は、主にボランティアにより行っている。 ※利用実績は19頁のとおり。	主な経費
		費用弁償 3,436千円

ア リサイクルショップボランティア研修(コロナで中止)

概要	リサイクルショップの実務に役立つ知識を学べるよう、シルバー人材センターに依頼した着物に詳しい講師による着物の種類や帯の見分け方、使うシーンの違いなどを学ぶ講座や最新の環境情報をエコプロなどへの見学を研修として行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。
----	--

イ リサイクルショップの着物セールとおもちゃくじ

実施日時	着物セール 11月8日(火)10:00～15:30 おもちゃくじ 3月25日(土)から28日(火)10:00～15:00	主な経費 —
寄付人数	着物セール 95人 おもちゃくじ 75人	
概要	コロナ禍で中止していた着物セールを2年ぶりに開催した。待ちわびていた人たちで大いに賑わい、入場制限をするくらい好評であった。 また、おもちゃくじは春休みの特別企画として行った。例年は区民まつり内で行っている。これも多くのお子様で賑わい大盛況だった。	

(3) 子ども用品の交換会

実施日時	9月29日(木)～10月1日(土) 10:00～15:00	主な経費 —
実施場所	目黒区エコプラザ情報室	
参加人数	30人	
概要	子育て世代を対象としたイベントで、身近な環境活動として不用となった子ども服を持参・交換してもらう。密を避ける方法として持ち込み上限を5点、持ち込んだ衣類にはエピソードタグをつけるという形式『xChange(エクステンジ)』での開催とした。子ども服を選び、エピソードタグにメッセージをつけて持ち込むという作業を通して、その物に対する思い出や物の価値を見出し、物を大切する心を育てて貰うことが狙いである。	



リサイクルショップ おもちゃくじの様子



xChange～子ども服の交換会～の様子

5 条例第3条第5号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること

(1) 環境推進員等ステップアップ講座&エコサポーター懇談会の開催

実施日	10月1日(土) 10:00~12:30	主な経費
実施場所	田道住区センター第二・第三会議室	諸謝金
概要	環境推進員養成講座を修了し、めぐろエコサポーター制度に登録している方に対し、環境保全活動の実践に役立つ知識をさらに深めることの出来る機会とすることを目的に開催している。今年度は、映画「マイクロプラスチックストーリー」の上映を第13期環境推進員養成講座の2回目とステップアップ講座の合同で実施した。また、当日参加出来なかった方にも見て頂けるようオンラインでのアーカイブ上映を行った。(参加者8名・アーカイブ申し込み10名)	30千円

6 条例第3条第6号事業：エコプラザの施設を利用に供すること

(1) 活動室等の利用提供

事業名	活動室等の利用提供	主な経費
概要	エコプラザ登録団体が活動の場として利用するとともに、指定管理事業などの講座、講習会の会場とした。 また、広く一般の団体等に対しても活動の場として利用に供した。 ※利用実績は、19頁のとおり。	消耗品費 5千円

7 条例第3条第7号事業：区長が必要があると認める事業

(1) 環境推進員（エコサポーター）養成講座の開催

私たち一人ひとりの行動が、地球規模で起こっている環境問題に深く影響している。

自分にできる環境活動を始めるきっかけづくりのための講座を、過年度受講者による企画委員会で検討されたカリキュラムにより連続講座で実施した。

概要	地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的として、養成講座等を実施した。 今期(13期)養成講座修了者7人には、当協会理事長名で修了証を授与した。修了者がめぐろエコサポーター登録し、翌年に環境保全活動を実践し、「環境推進員登録申請書」を提出すると、当協会から「環境推進員登録証」を交付する。 令和4年度末累計登録者 環境推進員 26人、エコサポーター117人	主な経費 諸謝金 85千円 費用弁償 147千円 使用料及び貸借料 42千円 消耗品費
----	--	--

		10 千円
--	--	-------

ア 養成講座企画運営委員会

(人数は委員のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	4月23日(土)	講座の概要・目的・実施方法の確認、年間計画の確認、委員会の進め方について	4人
第2回	5月21日(土)	講座の方向性確認、講座内容の検討	5人
第3回	6月4日(土)	第13期のテーマ決定、講座全6回の内容決定	5人
第4回	7月2日(土)	第13期の各回のテーマ決定、講座各回の役割分担	5人
臨時回	7月24日(日)	講座(第4回)の会場となる大師河原干潟館にて、干潟館職員と打ち合わせおよび現地の下見	1人

イ 環境推進員(エコサポーター)養成講座

(人数は受講者のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	9月10日(土)	講座の目的・取り組み方・修了後等のガイダンス、講義:「目黒区の環境への取り組み」(講師:環境保全課)、受講生自己紹介など	8人
第2回	10月1日(土)	映画「マイクロプラスチックストーリー」からごみ問題を考える 講師:環境カウンセラー 杉村悦子氏	8人
第3回	10月15日(土)	講義:「家庭で取り組む食品ロス対策」 講師:NPO法人コミュニティスクールまちデザイン理事長 近藤恵津子氏	6人
第4回	10月22日(土)	活動体験:「河原でゴミ拾いと干潟のいきもの観察」 講師:川崎市大師河原干潟館職員	6人
第5回	11月5日(土)	グループ討議:「仲間と始める環境活動」	7人
第6回	11月26日(土)	グループ発表と意見交換、修了証授与、修了後の活動等の案内、修了生が立ち上げた活動団体の紹介など	6人

(2) エコサポーターの活動支援

環境推進員養成講座を受講しめぐろエコサポーター制度に登録した者に対し、講座・講習会の開催やボランティア募集等の情報提供、団体活動を行う際の相談、広報のための印刷機使用等の支援を行う。

ア めぐろエコサポーターへの情報提供

毎月1回と臨時号3回の年15回、講座やイベント等のお知らせメール(メールのない方には郵送)を行った。

イ めぐろエコサポーター専用ページの活用

エコライフめぐろ推進協会ホームページ内のめぐろエコサポーター専用ページ(パスワード有)の編集及び管理を行った。

コーナー名	内容
めぐろエコサポーター通信バックナンバー	めぐろエコサポーター通信創刊号から最新号までのバックナンバーを見ることが出来る。
今月のお知らせ	毎月メールや郵便で送っているお知らせの添付資料をホームページ上でも見ることが出来るようにした。
エコサポみんなの掲示板	エコサポーター同士が情報交換を出来る場として、ホームページ上に掲示板を作成、職員からもメッセージを定期的に入力し情報提供を行った。

ウ めぐろエコサポーター通信編集部会 (人数は編集部員のみ)

(ア) めぐろエコサポーター編集会議の開催

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	7月20日(水)	年間計画、役割分担、第12号の企画	3人
第2回	3月14日(火) 3月15日(水)	令和5年度の編集部会について	2人

(イ) めぐろエコサポーター通信の発行

発行号	発行日	内容
第12号	10月1日(土)	特集 本のプレゼント 環境推進員おすすめ/お気に入り/印象に残った本のご紹介

(3) 「区民まつり」への参加

実施日	田道ふれあい館が会場とならないこととなったため不参加	主な経費 —
会場	田道広場公園	
概要	令和元年度までは、田道ふれあい館も区民まつりの会場となっていた為、目黒区エコプラザとリサイクルショップも臨時開館していた。※令和2年度と3年度は、新型コロナウイルスの感染対策により区民まつりは開催中止。	

(4)「田道ふれあい館まつり」

実施日	1月21日(土)10時～15時	主な経費
会場	田道ふれあい館	—
参加人数	約300人	
概要	田道ふれあい館に入っている全施設(田道住区センター・高齢者センター・在宅ケア多機能センター・シルバー人材センター・目黒区エコプラザ)の共催。目黒区エコプラザは、「フードドライブ」と「手づくりマーケット」、「ソプラノコンサート」を実施した。	